

平成 23 年度第 1 回(通算第 15 回)  
冷凍空調規格委員会 議事概要 (案)

- I. 日時：平成 24 年 3 月 13 日(火) 15:00～16:30
- II. 場所：高圧ガス保安協会 第 4 会議室
- III. 出席者（順不同、敬称略）  
委員長：功刀  
副委員長：小口  
委員：松尾、福田、伊藤、辻、松浦、古田、澤柳、三好、小川、高木、西田、  
西沢  
KHK：安田、松本、鈴木
- IV. 配付資料  
資料 91 前回議事録（案）  
資料 92 技術基準整備 3 ヶ年計画（平成 24～26 年度）（案）  
資料 93 冷凍空調規格委員会委員名簿（案）  
資料 94 冷凍空調装置の施設基準検討分科会委員名簿（案）  
資料 95 冷凍用圧力容器の溶接基準検討分科会委員名簿（案）  
資料 96 冷凍用圧力容器の溶接基準解釈専門分科会委員名簿（案）  
資料 97 定期自主検査指針・保安検査基準解釈専門分科会名簿（案）  
資料 98 冷凍空調装置の施設基準解釈専門分科会の設置について（案）  
資料 99 書面投票用マニュアル  
資料 100 詳細基準の内容の説明（要旨）  
資料 101 溶接に係る検討分科会の検討

V. 議事概要

1. 報告

事務局から、委員及び委員代理者出席者数は 14 名であり、規格委員会規程第 14 条第 1 項に定める定足数を満足する旨の報告があった。

2. 議案

(1) 委員長の互選、副委員長の指名

事務局から、規格委員会規程第 2 条第 4 項の委員長の互選について、功刀委員にお願いしたい旨の提案があり、功刀委員が委員長として互選された。

また、同規程に基づいて、功刀委員長が小口委員を副委員長に指名した。

(2) 功刀委員長から、各委員に対して、委員倫理心得を遵守するようお願いした。

(3) 資料 91 に基づき、前回の議事が通読され、この後、挙手による採決を行い、全員一致で議事録が議決された。

(4) 技術基準整備 3 ヶ年計画について

事務局から資料 92 に基づき概ね次の説明があった。

- ・ 冷凍空調装置の施設基準（アンモニア施設編）を 25 年度までに終えたい。
- ・ 冷凍用圧力容器の溶接基準は、平成 20 年度に改正し、今般は、5 年ごとの見直しを 25 年度までに終えたい。
- ・ 危害予防規程等の見直しを 26 年度から始めたい。
- ・ この後、資料 92 について挙手による採決を行い、全員一致で議決された。

(5) 冷凍空調装置の施設基準検討分科会他委員名簿について

・ 事務局から、冷凍空調装置の施設基準検討分科会委員名簿（案）、冷凍用圧力容器の溶接基準検討分科会委員名簿（案）、冷凍用圧力容器の溶接基準解釈専門分科会委員名簿（案）及び定期自主検査指針・保安検査基準解釈専門分科会委員名簿（案）について説明があった。

・ この後、資料 94 から 97 について挙手による採決を行い、全員一致で議決された。

(6) 冷凍空調装置の施設基準解釈専門分科会の設置について

・ 事務局から資料 98 に基づいて、冷凍空調装置の施設基準に関して、KHK 事務局に寄せられる質問について質疑・応答・運用解釈を作成するため、「冷凍空調装置の施設基準解釈専門分科会」を設置することとしたい旨説明があった。

なお、委員メンバーは、「冷凍空調装置の施設基準検討分科会」と同一とし、功刀委員長より、福田委員が主査に指名された。

- ・この後、資料 98 について挙手による採決を行い、全員一致で議決された。

(7) その他

1)書面投票用マニュアルについて、改正点に関し事務局から説明があった。

2)詳細基準の内容の説明

- ・高強度銅管 3 種を高圧ガス保安法冷凍保安規則関係例示基準に新たに追加するための改正の依頼が日本伸銅協会よりあった。
- ・冷凍保安基準検討委員会にて審議のうえ、現在、経済産業省に意見具申をしているところである。

3)溶接に係る検討分科会の検討

- ・特定設備検査規則に係る「特定設備」の材料、溶接、構造など、運用上の疑義が発生した場合、毎年、高圧ガス設備担当者会議を通じて説明並びに文書化されている。
- ・特定設備に係る疑義内容には、冷凍設備にも共通の内容が有るので、冷凍則でもこれらを取り入れる体制とすべきではないか。
- ・JIS 溶接管の機械試験の取扱いについて、「冷凍用圧力容器の溶接基準検討分科会」において、検討することとする。

以上